

# 6. 情報提供・出版・市民シンクタンク事業

— ウォロ、創刊 54 周年。書籍の利用総数は 2,395 冊。その他、情報発信、シンクタンク事業を展開。

2020年6・7月号で創刊54周年を迎えた市民活動総合情報誌『ウォロ』は、中間支援組織が発行するオピニオン誌として社会課題の発信や提言に努めた。特集では、事例の紹介と分析を通じて、課題解決のためのヒントを読者に届けた。また、ウォロ自身が市民参加の場となるよう、20人以上の編集委員とともに編集・発行を進めた。出版部門は、2020年度中に『ボランティア研究 Vol. 4』を発刊し、印税収入を含め総額 293 万円の売り上げとなった。

## 1. 市民活動総合情報誌『ウォロ』の発行 [NHK歳末たすけあい募金助成事業を一部活用]

### (1) 発行部数【毎月 2,200 部】

市民活動関係者や社会福祉協議会、自治体、ボランティアセンター、NPO、研究者、企業の社会貢献部、大学等の研究機関などを中心に全国の読者に発信した。発行費用の一部にNHK歳末たすけあい募金の助成金を活用している。年間購読料 3,300 円 (送料込)。



### (2) 内 容

<特集>

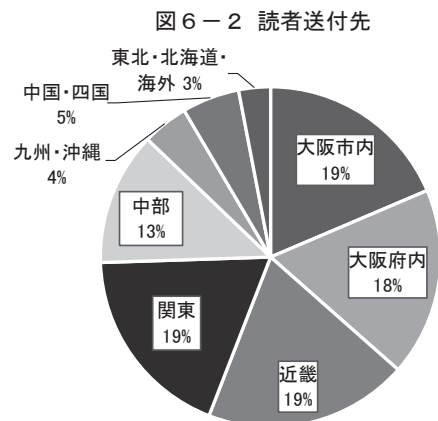
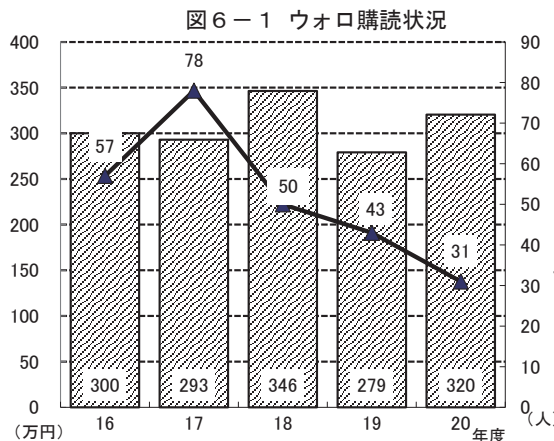
4・5月号	多文化と人権—外国人市民をとりまく社会を考える
6・7月号	コロナ禍 そのとき市民活動は
8・9月号	インクルーシブボランティア 「誰もが参加できる」を目指して
10・11月号	ゲームで学び、ゲームで交流!
12・1月号	休眠預金等活用制度、大研究 活用法成立から4年。巨額資金の動きに迫る!
2・3月号	ヤングケアラーをどう支えるか 当事者の声と支援活動

<V時評(論説欄)>

4・5月号	1. コロナ危機—俯瞰的な視点から考える 2. みんなが、当事者。自粛だけでなく、困難打開の努力も!
6・7月号	1. ヤングケアラー支援について考える 2. 賭博と肺病—ムラ社会を描いた映画を思い出した
8・9月号	1. 「感染者参加OK」の活動でWITHコロナを乗り切ろう 2. 知らず知らずのうちに、参加の機会を奪っていないか
10・11月号	1. オンライン化における障害者の参加の質 2. 市民の自由を守る 確かな意志示そう
12・1月号	1. 丁寧に議論し助け合える広場と協働を作ろう 2. 「田吾作」と「忠臣」と政治の劣化
2・3月号	1. 一マレーシア発— 国境というハードル

### (3) 購読者数

2020年度の有料購読部数は、1,410件(前年度1,391件)であった。内訳は、個人・団体購読987件(同942件)、パートナー登録団体43件(同49件)、大口購入380部(同400件)。2020年度の新規購読部数は31件(同43件)。内訳は会員10件(同10件)、非会員21件(同33件)。購読者は、図6-2のように全国に広がっている。購読料収入は320万円である(同279万円)。



#### (4) 連動企画

読者同士、および読者と編集委員が交流し、『ウォロ』で取り上げた社会課題をより深く理解する機会として、特集と連動したイベントを実施した。

##### ①. ウォロ読者交流会：10・11月号特集：ゲームで学び、ゲームで交流！

・「ネットすごろくサンデー」

日時：2020年11月29日(日)10時30分～11時30分 参加者数：4人 Zoomでのオンライン開催

・「今夜はゲームナイト」 ※新型コロナの影響で中止

##### ②. コンテンツ協力：8・9月号特集：インクルーシブボランティア「誰もが参加できる」を目指して

・「インクルーシブボランティア～誰もが参加できるボランティア活動を目指して～」

日時：2020年11月1日(日)13時30分～16時

第1章「ボランティアコーディネーション事業」で詳細報告。

## 2. 他の情報提供事業

### (1) ボランティア・市民活動ライブラリー

市民活動の歴史的資料を集めて散逸を防ぐとともに、現代の市民活動を記録し、市民活動の研究基盤となることを目的に巡浄一記念基金事業として開設した「ボランティア・市民活動ライブラリー」を運営している。ボランティア・市民活動に関する書籍、報告書など約5,000冊を所蔵。2020年度は図書目録データベースの構築が完成し、ホームページに検索システムを導入できた。また、協会が所蔵する市民活動関係の新聞切り抜きのデジタル化を進めるため2014年度にスタートした「ボランティアスタイル」の「新聞切り抜き・保存ボランティア」は、オンラインで開催し、2020年度に1回実施し6人(ナビゲーター含む)が参加した(第1章「ボランティアコーディネーション事業」に関連報告)。また、ボランティアスタイルのリピーター向けプログラムは、新型コロナの影響で実施できなかった。

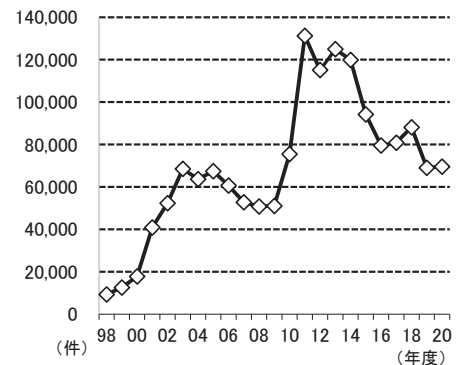
◎新聞切り抜きのデータ数(2020年度)：3,367(のべ35,088点) ※2021年3月31日現在

### (2) 「ホームページ」の運用 (<http://www.osakavol.org/>)

ホームページ「ぼらやねん(Volajanen)」では、様々な情報を発信している。2020年度アクセス件数は69,550件(月平均5,795件、前年度69,052件)。前年度より約500件アクセスが微増している。アクセス数の内7,100件以上がボランティアスタイルのページである。また半数以上がスマートフォンなどのモバイル利用者のため、より見やすいサイト構築の必要がある。

KVネット(<http://www.kvnet.jp/>)については、第1章「ボランティアコーディネーション事業」で報告している。また「3.11 from KANSAI」公式サイト(<http://www.311-kansai.com/>)についても、同実行委員会事務局としてホームページ運用を行った。

図6-3 HP年間アクセス数の推移



### (3) フェイスブック(Facebook)の運用 (<https://www.facebook.com/osakavol/>)

2020年度は投稿数52(前年度61)、合計「いいね!」3,161(前年度3,078)と、投稿数は減少したが、利用数は増加した。最高リーチ数の記事と数値は、「【2021年2月10日付、抗議声明】森会長、二階幹事長の発言に対して、抗議声明」(リーチ数9,070人、2021年2月10日投稿)だった。またFacebookページとして「ボランティアスタイル」「裁判員ACT」「ウォロ」がある。また、実行委員会などの事務局として「うめきた朝ガク」「震災復興応援イベント『3.11 from KANSAI』」のFacebookページ運用を行った。

### (4) メールマガジンの運用

NPOや関心のある市民向けにメールマガジンの運用を2つ行っている。

「関西人のためのボランティア活動情報メールマガジン」：第1章「ボランティアコーディネーション事業」で詳細報告。

「NPOばいす」：第3章「NPO運営支援・基盤整備事業」で詳細報告。

(5) Twitterの運用 (<https://twitter.com/OsakaVolunteer>)

若者のボランティア活動者向けにTwitterを発信している。

「ボランティア活動情報発信局@大阪ボランティア協会」: 第1章「ボランティアコーディネーション事業」で詳細報告。

### 3. 書籍の発刊と発行経費の回収

(1) 新規/増刷の発行図書

① 新規発行

『ボランティア研究vol.4』の編集

・B5判、95頁。2020年10月31日、「ボランティア研究所」が編集する研究雑誌の第4号。第3号に引き続き、特集は「市民セクターが挑む、社会的孤立の抑制・解消への道程Ⅱ」。

『福祉小六法2020』の編集

・B6判、944頁。2020年12月20日、中央法規出版より発行。社会福祉および市民活動に関する基本法令をまとめる。「地域共生社会実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」の制定、介護保険法等関係法律、バリアフリーの方の改定箇所の反映等を行う。

② 改訂発行

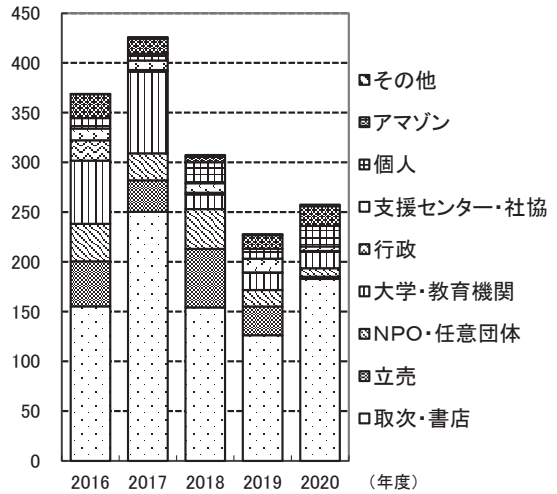
・2020年度は改訂を行った書籍はなかった。

③ 増刷

・2020年度は増刷を行った書籍はなかった。



図6-4 購入者属性



(2) 書籍の普及と発行経費の回収

出版活動の財政的自立をめざし、各書籍は実費で頒布。2020年度は2,395冊(前年度1,945冊)の販売があり、売り上げは総額約293万円(同約264万円、印税・『ウォロ』単品販売を含む)だった。2020年度は講師派遣のオンライン化などで対面販売の機会が激減した一方、大学・専門学校の教科書として採用されている『学生のためのボランティア論』『テキスト市民活動論』は大学等の授業が再開されたことにより売り上げが伸び、「ウォロ」の単品販売の増加もあり、2019年度と比較して売り上げ増となった。

① 新規発行図書、および協会発行図書の改訂の検討

『学生のためのボランティア論』および『テキスト市民活動論』の改訂を目指し検討を開始したが、事務局体制が整わず、見送りとなっている。

② 協会編集書籍からの印税収入

『福祉小六法』の売上により約35万円(前年度約35万円)の印税収入を得た。

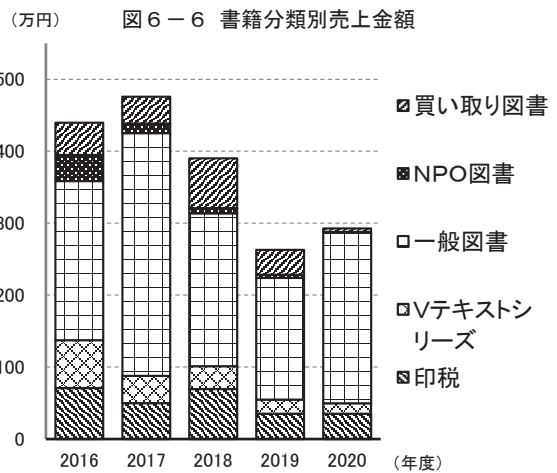
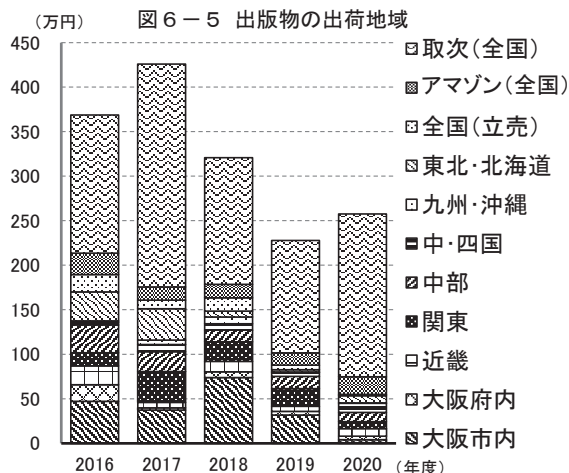
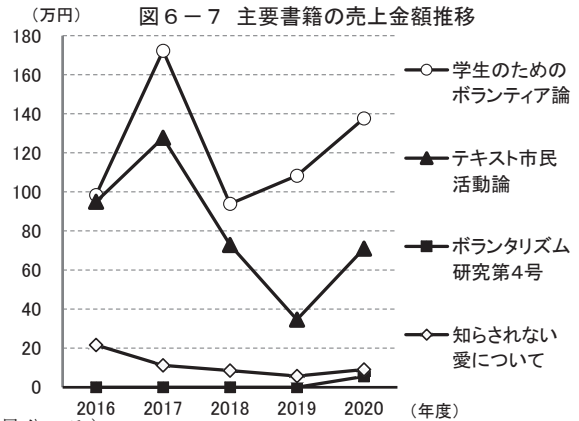


表6-1 2020年度販売上位書籍

書籍名	売上金額	売上冊数
学生のためのボランティア論	1,376,642	1,101
テキスト市民活動論【第2版】	709,935	651
知らされない愛について	90,571	135
ボランティア研究第4号	55,300	67

図6-7 主要書籍の売上金額推移



**(3) 広報誌・研究誌等への寄稿 (理事長・常務理事・事務局員分のみ)**

2020年度は以下の広報誌・研究誌などへの寄稿を行った。

- ・『社会福祉研究 137号』2020年4月号(鉄道弘済会刊)に、書評「ボランティアとファシズムー自発性と社会貢献の近現代史ー」を寄稿(早瀬)
- ・『生活と福祉』2020年8月号～2021年1月号(全国社会福祉協議会刊)に、「水流」を連載(早瀬)
- ・『太平洋 NEWS LETTER 2020年夏号』2020年8月(太平洋法律事務所発行)に、「どんな時でも「参加」を止めないためにーコロナ禍を共生社会のスタート地点に」を寄稿(青山)
- ・機関誌『JA大阪No.953』2020年12月(JA大阪中央会)のコラム「協同のチカラ」に、「農や食とつながるボランティアやNPOいろいろ」を寄稿(永井)
- ・機関誌『ともだちVo1.221』2021年1月((特)日本BBS連盟)に、「コロナ禍を逆手にとって、新たにチャレンジしてみよう!」を寄稿(永井)
- ・『部落解放』2021年4月号(解放出版社)に、書評「コロナ禍における日米のNPO」を寄稿(早瀬)

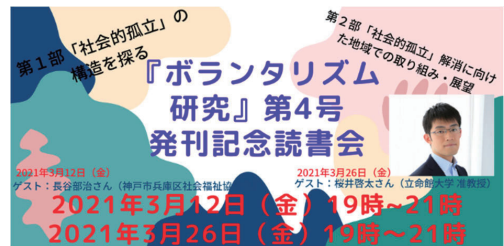
**4. 市民シンクタンク事業**

市民活動を進めるための調査研究事業にも積極的に取り組んでいる。このうち、企業からの受託事業を第5章「企業市民活動推進センター事業」で報告したが、その他以下のような研究事業に取り組んだ。

**(1) 「ボランティア研究」事業 [NHK歳末たすけあい募金助成事業]**

**『ボランティア研究』第4号発刊記念読書会**

- ・日時: 2021年3月12日(金)、3月26日(金) 両日 19時～21時
- ・参加者数: 8人(3/12)、10人(3/26)
- ・ゲスト: 長谷部治(神戸市兵庫区社会福祉協議会)、桜井啓太(立命館大学 准教授)
- ・ホスト: 岡本仁宏(関西学院大学教授)、早瀬昇(大阪ボランティア協会 理事長)、工藤宏司(大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 准教授)



**(2) 宗教団体の社会貢献活動の推進について助言・公募助成事業事務局受託 (真如苑)**

宗教法人 真如苑が社会貢献活動への助言を得るために組織した「社会貢献アドバイザー委員会」事務局、「多摩地域市民活動公募助成事業」、「自立援助ホーム支援助成事業」の助成金事務局を受託するとともに、新型コロナウイルス禍に対応した助成活動創設の助言をし、「市民防災・減災活動助成」に審査員を派遣した。

**5. 学会発表と研究会・審議会などへの参画**

**(1) 学会発表**

2020年度は、日本NPO学会第22回年次大会の学会企画パネルで、「大規模災害時における日本NPO学会の役割」を、秋葉武、菅野拓、永井美佳、三木秀夫が行った。

## (2) 審議会、研究会、学会理事などへの参画

2020年度に理事長、常務理事・事務局長および事務局員が審議会、研究会、助成審査会、役員を務める学会に参加。

## ①...審議会、研究会、助成審査会等 ※2020年度内に就任したもの

区分等	会議・委員会名	氏名
大阪府	高齢者保健福祉計画推進委員会/住民主体型サービス創出・展開に向けた検討会	永井(継続)
	地域福祉推進審議会/同地域福祉支援計画推進分科会/同福祉基金運営分科会	永井(継続)
	特定非営利活動法人条例指定審議会	永井(継続)
	大阪府公益認定等委員会	永井(継続)
	大阪マラソン組織委員会チャリティ専門部会	永井(継続)
大阪市	社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会/同保健福祉部会	早瀬(継続)
	地域包括支援センター運営協議会/同評価部会	早瀬(継続)
	介護予防ポイント事業にかかる選定会議・委員	早瀬(継続)
	市民活動推進審議会	梅田(新規)
	大阪市人権施策推進審議会委員	江瀬(新規)
	大阪市役所附設会館指定管理予定者選定有識者会議(北グループ)	永井(新規)
	大阪市役所附設会館指定管理予定者選定有識者会議(南ブロック)	永井(新規)
京都市	京都府寄附控除対象特定非営利活動審査委員会/京都市控除対象特定非営利活動法人審査委員会	永井(新規)
	吹田市	吹田市立市民公益活動センター指定管理者候補者選定委員会委員
全社協	全社協「都道府県圏域における同時多発・広域災害への支援あり方検討委員会」	永井(継続)
府社協	大阪府社協ボランティア・市民活動センター運営委員会	永井(継続)
市社協	大阪府社協ボランティア・市民活動センター運営委員会	永井(継続)
	大阪市ボランティア活動振興基金運営委員会作業部会	梅田(継続)
中央共募	中央共募「赤い羽根福祉基金」審査委員会	永井(継続)
	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議	永井(新規)
府共募	大阪府共募運営協議会	早瀬(新規)
関経連	「関西財界セミナー賞2020」選考委員	早瀬(継続)
企業系	積水ハウスマッチングプログラム事業・理事会	永井(継続)
財団系	(公財)大同生命厚生事業団 ビジネスパーソン/シニアボランティア活動助成	早瀬(継続)
宗教系	真如苑「多摩地域市民活動公募助成」「市民防災・減災公募助成」「自立援助ホーム支援助成」	早瀬(継続)
民間系	民都大阪フィランソロビー会議	早瀬(継続)
NPO系	(認特)日本NPOセンター中期ビジョン検討会	永井(新規)
	(認特)大阪府高齢者大学校「KOUDAI AWARD」審査会議	永井(継続)

## ②...学会役員等

NPO系	日本NPO学会・理事(第10・11期)	早瀬(継続)
	日本NPO学会・理事(第10期:6月迄)/同学会・災害等対応委員会(6月迄)	永井(継続)